

今日から始めよう防災活動 「グリーンシティを守る584の法則」

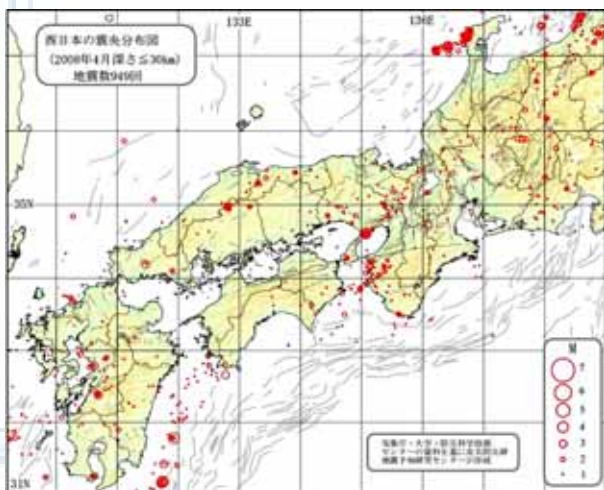
6月14日8時43分頃、東北地方内陸部で起きた**岩手・宮城内陸地震**についてはすでに多くのメディアでその実態が明らかにされており、死者12名・行方不明者10名・負傷者436名であることが確認されています。

この地震の特徴的なところは極めて浅い震源（約10kmの深さ）による激しい揺れと**史上最大規模の山体崩壊**があったということです。そしてその被害の大半が土石流によるもので、家屋の倒壊による被害はその規模に比べて非常に少なかったという特徴がありました。被害のあった地域の地層は地すべりが起きやすい構造だったと考えられ、このような規模の揺れには耐えられなかったようです。この地震は山間部に存在した未発見の断層のようですが、もともとこのエリアでは太平洋側からのプレートの圧力が強まっているエリアであって、内陸部よりもプレート境界型の地震発生が危惧されている地域だったのです。

特に宮城県沖の発生確率はこの30年でほぼ100%、しかし今回は全く危険視されていないエリアでの発生でした。ただし、この内陸部の活断層における変動はこのプレートからの圧力に影響されていることが考えられ、このエリアでの巨大地震発生リスクは下がったとは言えません。

ではこの規模の地震がもしも私たちのまち加古川市で起きたなら、どのような被害が発生するのでしょうか？想像を絶するものですね！

加古川市は、西には**山崎断層地震（M7.7）**、東には**有馬高槻断層帯～六甲淡路島断層帯地震（M7.7）**と**大阪上町断層地震（M7.6）**、南には淡路島南部の**中央構造線断層帯地震（M8.0）**と紀伊半島沖の**南海地震（M8.4）**、北には但馬海岸付近の**日本海沿岸地震（M7.3）**と**琵琶湖西岸断層地震（M7.8）**等、スーパー広域災害・巨大地震が発生する可能性をもつエリアに囲まれているのはみなさまもご存じの通りだと思います。



「えっ！知らなかった？そんなことは誰も教えてくれなかった！」

そうですかぁ、加古川に住む限りはこれくらい覚えておきましょう。自分たちの住むまちなんですからね！

災害が発生した後に、「なんで前もって言ってくれなかったんや！」とよく聞きます。私たちグリーンシティ防災会では耳にタコができるくらいお伝えしています。

「えっ？伝え方が悪い？」そうですかぁ？ではみなさまの心の底に響く「防災広報活動」はどのようなものが良いのでしょうかね。是非、ご提案くださいね！

みなさまもよくご存じの「**阪神・淡路大震災**」は誰も地震が来ることを教えてくれなかったとよく言われています。しかし、実は昭和55年に神戸新聞やサンテレビ等で特集が組まれ「**神戸大地震**」として広く伝えられたんですよ。でも、それらの言葉に耳を傾けなかった方々や地域の資産価値低下を懸念した方々が多かった結果、被害が拡大してしまったのは間違いのないことなのです。



その為にも正しい情報の提供と地域コミュニティ力の更なる向上のため、みなさまのご協力を賜りたいと思います。何から始めればよいのか？それはみんなでできる簡単なことから始めましょう！『あいさつ運動』です。みんながすすんで「あいさつ」しましょう。そしてグリーンシティを「あいさつ」であふれるまちにしましょう！その為にも「あいさつは自分からすること」が大切です。人がしてくれるのを待っているのはダメです。朝から元気に「**おはようございます！**」

それから最後に「地域の資産価値」は、誰かが維持するものではありません！地域に住む全員で「誇りを持てる地域をつくり、みんなで一緒に地域を守ること、将来に向けて住みやすいまちにすること」それが資産価値なのではないのでしょうか。その為にも「**永く安心して住めるまち『グリーンシティ』をみんなで一緒に創りましょう**」



グリーンネット防災情報入手方法を再確認！

<http://www.greencity.sakura.ne.jp/kinkyu.htm>

- ・家族の安否確認や登録
- ・災害用伝言サービスの利用方法
- ・休日の救急当直医情報
- ・警報発令時の対処など
- ・掲示板へも接続